

ライオン株式会社が

第12回 読売・日テレ アドバイザー・オブ・ザ・イヤーに決定！

読売新聞社と日本テレビ放送網は、読売新聞と日本テレビの両媒体において、毎年4月より翌年3月までの間にエポックとなるような顕著な広告活動を行った企業または人物を顕彰する「読売・日テレ アドバイザー・オブ・ザ・イヤー」を2006年度から実施しております。

この度、第12回(2018年度)のアドバイザー・オブ・ザ・イヤーがライオン株式会社に決定いたしました。贈賞式は7月4日(木)、東京・内幸町の帝国ホテルで行います。

贈賞理由:

ライオンは、ヘルスケアのリーディングカンパニーとして、消費者の日々の生活に寄り添い、「清潔」「健康」「快適」「環境」を守るという企業姿勢を映す広告を長きにわたって展開してきました。

新聞では2018年度は、人生100年時代を迎え、健康寿命の延伸に対する国民の関心が高まる中、口腔ケアで健康寿命を延ばすという企業メッセージを、「クリニカ」「システム」「デントヘルス」の広告を通じて広く発信しました。また、“ニオイ”に悩みをもつ消費者をターゲットに、リニューアルした「ソフラン」では、嵐・相葉雅紀さんを起用したパノラマ広告を発行し、話題をよびました。

テレビにおいては、1984年から大型提供している「高校生クイズ」をはじめ、昨年は「24時間テレビ」を協賛。また人気レギュラー番組を提供するだけでなく、帯番組「スッキリ」「ヒルナンデス!」では、出演者を起用した長尺のオリジナルCMを幅広く展開しました。視聴者の人気を集めるとともに、CMと商品売上の連動効果が見えやすい新たな広告の成功事例として注目されています。

■ 読売・日テレ アドバイザー・オブ・ザ・イヤーとは

2006年度創設。読売新聞と日本テレビの両媒体を通じて、4月から翌年3月の1年間に、エポックとなるような顕著な広告活動を行った企業または人物を顕彰しています。副賞は賞金200万円相当。

■ 過去の受賞社

第1回(2006年度)	エヌ・ティ・ティ・ドコモ
第2回(2007年度)	松下電器産業(現 パナソニック)
第3回(2008年度)	キヤノン/キヤノンマーケティングジャパン
第4回(2009年度)	シャープ
2010年度	休止
第5回(2011年度)	サントリーホールディングス
第6回(2012年度)	トヨタ自動車
第7回(2013年度)	サントリーホールディングス
第8回(2014年度)	花王
第9回(2015年度)	明治
第10回(2016年度)	資生堂
第11回(2017年度)	味の素

お問い合わせ

読売新聞東京本社広告局企画営業部

野中 隆佐

TEL:03-3216-8796

日本テレビ放送網営業局営業企画部

桑原 丈弥

TEL:03-6215-2928